

## 郡山高等学校 オーストラリア研修 6 日目報告書

研修 6 日目。今日のオーストラリアは、昨日の寒さが和らぎ暖かな過ごしやすい一日となりました。今日は現地校のスポーツデイのため、貴校生、現地校生とも体操着での登校です。

ホームステイ、そして現地校での生活が始まって数日。毎朝提出してもらっている日誌には、生徒達の心情の変化が綴られています。その中で、一日一日ごと自分の目標を立てている生徒がいます。「自分からバディに話しかける」「〇〇な話題をホストファミリーに振ってみる」など具体的に記されており、次の日の日誌にはその結果が記入されています。注目すべきは、全て自分から行動を起こそうとしていることです。今回の研修の目標として、積極的になることを挙げている生徒さんが多くいらっしゃいますが、中には中々一歩踏み出せずにいる生徒さんもいらっしゃいます。しかし、時間は有限で、来週の木曜日には日本に向けて出発します。現状を打破できるのは、自分自身だけですので、アクションを起こし、研修期間中に自分自身の目標を是非達成してくれることを祈ります。

そして、午後はいよいよスポーツデイが始まりました。日本の学校の体育祭とは異なり、全員が参加し、楽しむといったことを目的としているようです。先日、体育祭を終えたばかりという貴校生は、そのオーストラリアらしい“ゆるさ”にカルチャーショックを受けた様子でした。卓球やバスケ、バレーにタッチラグビーなど、郡高生は各バディが取っている種目に参加しました。タッチラグビーという、タックルなしのラグビーに参加した生徒は、初めルールを知らないからと参加できずにいましたが、勇気を持って現地の先生に話しかけ、ルールを教えてもらい、見事参加する事に。終えてみての感想は、「良くわからなかったけど、楽しかった」とのこと。言葉が通じなくても、一緒に楽しめ、そして距離を縮めることができるのが、スポーツの魅力です。もう一つ、バスケでの一コマを紹介します。バディもスポーツデイということで、お友達とはしゃいでしまい、中々その輪の中に入れない貴校生。ついには、大粒の涙が彼女の頬をつたいました。ヨハナ先生が訳を聞くと、「英語力よりも、声をかけることのできない、勇気を出せない自分に腹が立つ」とのこと。そんな彼女に「二か国語も話せるなんて凄くない。ここにいるみんなは(現地校生)日本語を話せないわよ。自信を持って！」とヨハナ先生に励まされ、力が湧いたのかバディに声をかけ、一緒にシュート練習を始めました。自分の弱さから目を逸らさず、課題に向き合う姿がさすが郡高生と感じました。少しの勇気で、彼女を取り巻く環境は大きく変わり、彼女の自信にも繋がった瞬間だったと思います。「失敗を恐れず勇気を持って行動する」ことを、研修期間だけに関わらず大切にしていって欲しいです。

明日は楽しみにしていたカランビンワイルドライフサンクチュアリーを訪問します。

以上、研修 6 日目の報告と致します。



スポーツデイ①



スポーツデイ②





スポーツデイ③



スポーツデイ④